

さいたま市立大宮八幡中学校

【学校教育目標】心豊かでたくましい、

広い世界に生きる人間の育成

学校だより **きゃら**



「大宮八幡中学校の樹」

第8号

令和7年12月1日 発行

さいたま市見沼区大字南中丸357

TEL 048-687-8800

FAX 048-687-9301

人権

校長 下館 文雄

赤く彩られていた校門付近の桜の葉もすっかり散り、冬の訪れを感じるようになってきました。早いものでもう「師走」、今年も最後のひと月となりました。

さて、12月10日（水）は「世界人権デー」です。昭和23年に「世界人権宣言」が採択されたことを祈念し、すべての人が平等に尊重され、幸せに生きる権利を大切にするとされています。本校では、11月の期間を中心に、人の気持ちに寄り添い、互いを大切にする取組を実施いたしました。

11月13日（木）には、生徒会本部役員と中央委員会の生徒が協力して人権朝礼を行いました。内容はクイズ形式による発問を通して人権意識を高め、「自分が気づかないうちに相手の人権を侵害してしまうこと」や「身近で起こりうることと自分事として生活すること」「全員が傷つかず楽しく過ごすために自分には何ができるかを考えながら行動すること」を全校生徒に訴えました。

11月18日（火）には、社会福祉協議会の方と福祉施設で働く方、障害のある当事者の方をお招きして人権講演会を行いました。福祉（ふくし）は、「**だ**んの**ら**しを**ぬ**えるもの」障害のある人や支援を必要とする人だけでなく、すべての人が幸せに暮らすことができるように、互いに支え合い助け合うことです。

障害のある当事者の金子様からは、「あなたがここにおいて 命があり あなたがあなたであるということ」という金子様が大切にされている言葉を紹介いただくとともに「色々な工夫をすることで障害があっても生活の幅が広がり、できることを一歩ずつ進むこと」が大切だとお話いただきました。

また、10月号の学校だよりで紹介しましたが本校では、高齢者にやさしいまちづくり「認知症サポーター養成講座」を毎年中学1年生を対象に開催しております。認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の方やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組んでいます。この「認知症サポーター養成講座」も人権教育・環境教育の充実を目指した取組の1つです。本年度は、令和8年1月21日（水）に実施予定です。保護者の方の参加も可能です。詳しくは後日ご連絡いたします。



【人権講演会の様子】